

令和7年1月20日
岐阜県立飛騨高山高等学校
国土交通省 高山国道事務所

高山西ICビオトープ20周年記念/飛騨高山高校生徒と 「ネイチャーポジティブ（自然再興）」をテーマに環境を学習

PRポイント

高校生と協働で実施してきた高山西ICの環境活動を踏まえ、ネイチャーポジティブやグリーンインフラについて学び、生徒達が今後の活動を話し合うワークショップを実施します。

- 概要：高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”は完成後20年が経過しました。平成22年度から飛騨高山高校生徒がビオトープにおいて、動植物の生息・生育環境創生の取り組みをしています。今回は、ネイチャーポジティブやグリーンインフラについて学び、「活動を通じて貢献する高山地域のこれから」など生徒達が今後の活動を話し合うワークショップを実施します。
- 日時：令和7年 1月 27日（月） 13:35～15:25
- 場所：岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス内
- 参加者：岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生29名
- 添付資料：別紙1のとおり
- 配布先：高山記者クラブ
- 問合せ先：岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス 国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
環境科学科 金桶 満（かねおけ みつる） 事業対策官 永富 達也（ながとみ たつや）
TEL 0577-33-1060 TEL 0577-36-3824
FAX 0577-32-8994 FAX 0577-36-3801
- 取材申込：事前に、以下のQRコードのリンク先、またはURLよりお申し込みください。
URL：<https://forms.office.com/r/T1Mt79tgWj>

取材登録票QR



道路の異状を発見したら…
道路緊急ダイヤル **#9910**
(通話料無料・24時間受付)



道路情報の入手に便利です。ご活用ください。
パソコン <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/>
スマホ・携帯 <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/mobile/>



別紙－１

【学習内容】

今回は、環境科学科２年生２９名が参加して、地域の自然環境に精通する専門家から飛騨地域や高山西IC内ビオトープにおける自然再興について講義していただき、「ネイチャーポジティブ」や「グリーンインフラ」について学びます。
また、飛騨地域における活動の意義や効果や今後の活動の在り方などについて、生徒達が今後の活動を話し合うワークショップを実施します。

- ・ネイチャーポジティブとは「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる行動」で、社会・経済も含めて変革を目指す考え方
- ・グリーンインフラとは「自然の機能や仕組みを活用したインフラ整備や社会のあり方」を目指す考え方

【環境学習 実施位置】

実施場所：岐阜県立飛騨高山高等学校山田キャンパス内

取材希望の方は学校正面玄関の駐車場にお集まりください。



(地理院地図)

【お願い】

作業場所は高校キャンパス内ですので、取材に関しては高校の指示に従ってください。

アクセス
車・東海北陸道飛騨清見IC～高山清見道路高山IC～国道41号下呂方面総合庁舎口交差点西へ

高山西ICビオトープ “飛驒の森再生”

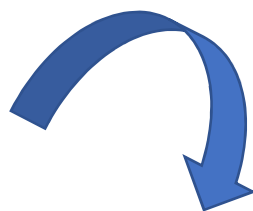
ビオトープ “飛驒の森再生” 整備

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が大きく変化する可能性があります。そのため、環境保全を目的として、インターチェンジ内にビオトープ『飛驒の森再生』を計画し、平成16年11月に高山清見道路（飛驒清見IC～高山西IC）の供用と同時に完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛驒高山高校と高山国道事務所でビオトープの「維持管理に関する協定」を締結し、継続して動植物の生息・生育環境創生に取り組んでいます。



整備直後（平成16年11月）



現在の状況（令和6年7月）

ビオトープ “飛驒の森再生” 整備

完成してから20年が経過したビオトープでは、完成当時に移植した根株や貴重な植物が良好に生育しています。また、周辺域に分布する在来種もビオトープを利用しており、ビオトープ内は調整池や植生の変化に併せて、両生類（カエル）や昆虫類（チョウやトンボ、バッタ）などの定着が順調に進み、生物の多様化が進んでいます。

飛驒高山高校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が繁殖または再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が維持されています。